



波に乗っている阿部将大

大阪・関西万博協賛函館競輪「ミリオンナイトカップ」(G3)は、6月6日〜9日の4日間、ナイターで開催される。今シリーズはS1班中堅クラスが主力で、実力傑出者は見当たらない。勢いがある阿部将大が人気を集めそうだが、同期生の渡邊雅也、菊池岳仁ら他の自力型も黙ってはいない。優勝のゆくえは混んとしている。また、ガールズが3R4日制で行われるが、こちらも実力互角のメンバー構成。興味津々のV争いだ。

高松宮記念杯直前の開催のためトップクラスは少ない。そんな中、阿部将大の戦歴はひととき光る。4月高知記念①②①着、決勝は清水裕、深谷知、新山響、佐藤慎らのSS班をまとめて撃破する大金星をあげる



阿部将大

と、続く同月別府では3連勝を達成。決勝は犬伏湧の逃げをまくりでねじ伏せた。更にダービーは一次予選で2着と好走するなど、高知記念のVがフロックではないことを示している。持ち味の自力攻撃には、一段と磨きがかかった印象だ。今シリーズも機動力を遺憾なく発揮して主役を演じる。大塚健一郎、中川誠一郎が阿部を盛り立てる。欠場が多く、順調さを欠く大塚だが、4月富山の準決は上田堯の逃げを差して勝つなど、好展開が巡ってきた

時は結果を出している。中川もウィナーズカップで落車し、2場所を欠場している。今も好調と言える状態ではない。しかしながら、スピードには素晴らしいものがある。今期は初めてS1班に昇格した渡邊雅也も好勝負が見込める。最近では優率率アップしているし、5月小倉では、有望のS級初Vを手に入れている。小倉の決勝は、単騎ながら先制した九州勢の3番手をキープすると、最終バックから切れ味鋭いまくりを放ったレースは、センスの良さを感じさせた。南関勢では野口裕史も侮れない。重戦車を彷彿させるパワー先行は迫力満点で、5月武雄記念では①⑦④①着と2勝をあげ、続く小田原は⑤①①着と逃げ飾っている。目標には困らない近藤保もここはチャンス。5月西武園では初日特選を勝つたように、差し脚の伸びは申し分ない。

関東勢も菊池岳仁、橋本壮史と先行型はそろっている。今期は一息不足の場所が続いていた菊池だが、4月松山2①⑤着、5月取手①①⑦着、同月函館記念は準決進出とやや上向いてきた印象だ。橋本は準決を乗り切れない場所が目立つものの、4月福井、5月大垣はいずれも初日特選で2着、随所で好走している。しっかりと好走したラインが形成されるようなら侮れない。

坂本貴史、菊池圭尚、櫻井正孝と地元地区の北日本勢も戦力は整っている。ダービーは振るわなかった坂本だが、5月武雄記念では予選を2、3着で準決にコマを進めていて、動きは悪くない。一昨年のこの大会を制覇した実績があるので、ここは割増しの評価が必要だろう。好位確保から自力を出せれば、勝ち負けに持ち込んで不思議ではない。地元の菊池は、当所には5月に参戦したばかり。⑦④⑤着と不本意な結果に終わっただけに、今回は汚名返上を期して気合が入る。久米康平、福島武士、片岡迪之の中四国勢も差はない。久米はダービー③⑥③②着、5月当所記念⑦②①③着、確定板入り3回と気を吐いたし、片岡もダービーでは一次予選で2着と好走した。展開がもつれるようだと、一発があってもおかしくない。



渡邊雅也



菊池岳仁

万博協賛ミリオンナイトカップ 万博協賛 出場予定選手

Table with columns for 級班 (Class), 氏名 (Name), 登録地 (Registered Area), 期別 (Round), 競走得点 (Points), 級班 (Class), 氏名 (Name), 登録地 (Registered Area), 期別 (Round), 競走得点 (Points). Lists various riders and their performance statistics.

Main rider profile section for 阿部将大 (Asano Masahiro). Includes a photo, name, and detailed statistics: 出走39, 12月12期, 10月12期, 9月12期, 8月12期, 7月12期, 6月12期, 5月12期, 4月12期, 3月12期, 2月12期, 1月12期. Also includes a 12期所獲成績 (12th round performance) and 直近12期所獲成績 (Recent 12 round performance) section.

※2024年05月24日現在

### 酒井 雄多 (福島/109期)

1月川崎記念2③⑦③着、3月伊東G3は1①⑦①着など、G3では好走が目につく。スピードは一級品で、北日本地区をけん引する機動型として期待がかかる。



# PICK UP RACE



### 磯島 成介 (青森/115期)

準決が壁になっているが、今期は初日予選で確定板を1回も外していない。一次予選は主力として信頼できるし、今シリーズのメンバーなら二次予選でも軽視できない。



### 鈴木 玄人 (東京/117期)

落車負傷もあって、今期はまだ5場所しか走っていないが、1月大宮記念、4月西武園記念では、いずれも準決にコマを進めている。上位戦でもうまく流れに乗れば怖い。



GIRLS KEIRIN

## ガールズケイリン

# 山口伊吹に勝機が到来



山口 伊吹

ガールズもパールカップ組が不在でかなりの混戦だ。競走得点最上位が52点台の山口伊吹とあって、展開次第で競走得点49点台、48点台の選手までVの期待が持てそう。それでもシリーズリーダーは山口だ。優勝は昨年6月の高知MNから言っても、今年に入って決勝進出ならなかったのはオールガールズ(GI)のみだし、何より普通開催の予選2で確定板を外したのは僅かに1回という勝負強さは特筆ものだろう。先行を含めた自力から位置を取っての勝負まで展開や相手に応じて何でもできるのが持ち味。2年前の6月当所G3ナイターの4日制シリーズでも優勝していて、その再現を目指す。小坂知子もVとなると22年の11月にさかのぼるが、卓越したスタート力と自力兼備の脚で前々に攻めていくスタイルを確立していて、調子の波に左右されずに成績をまとめられる。傑出者不在のここはチャンスだ。



小坂 知子

通算41Vと断然の実績を誇る中村由香里。昨年2勝、今年1勝と勝ち味に遅くなったものの、流れに乗って勝負になる位置を確保していく巧みな組み立てはさび付いていない。22年8月以来のVへ、全力投球を見せる。増茂るるこ、高橋朋恵もV候補として見逃せない。ともに大きなスランプを乗り越えて上り調子。増茂は今年に入って毎場所のように1着を取っているのは高評価だし、決勝にもコンスタントに乗っている。切れる脚はないが、前々に粘り強い走りでも4年半ぶりのVを目指す。高橋も最近では優勝が続いているように底は脱した。元々位置取りには定評があり、差し脚が戻ってくれば好勝負。地元の伊藤のぞみも目標をつかめばしっかりと今年も成績もまとまっている。悲願の初優勝はあるか。先行力がある五味田奈穂、清水彩那、渡辺菜奈あたりまで差はない。鈴木樹里、渡邊菜奈あたりまで差はない。

選手名	期数	直近4ヶ月 前期得点	直近4ヶ月 今期得点	選手能力値	戦法	戦法別勝利数	直近12場所成績	55HS 打撃 5級
山口 伊吹	116期	52.10	52.13	39/54 39/1 22/88	1	0	3 7 10 16	472万 自在
小坂 知子	104期	51.85	51.64	36/48 29/1 25/43	1	0	1 11 8 14	463万 自在
五味田 奈穂	124期	49.92	49.91	49/47 6/0 6/62	2	0	4 5 5 20	387万 追勝
高橋 朋恵	108期	49.18	49.52	32/43 26/21 42/49	1	0	0 7 7 22	403万 追勝
増茂るるこ	102期	51.11	51.40	34/42 29/0 29/58	1	0	6 4 6 18	193万 自在
中村 由香里	102期	52.00	51.86	34/45 27/21 16/37	3	0	1 7 13 13	456万 追勝
伊藤のぞみ	116期	50.62	50.69	31/37 20/20 16/37	1	0	1 10 6 19	428万 追勝

※2024年05月24日現在



車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。  
競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。